

平成17年度国民健康保険菊水・和水町立病院 事業会計歳入歳出決算審査について

平成17年度国民健康保険町立病院事業会計歳入歳出決算は、年度途中の3月1日合併のため、17年4月1日から18年2月28日までは菊水町立病院として、3月1日から3月31日までは、和水町立病院としての別々の決算となりました。決算審査は17年度を全般に行いました。収益額は、866、411千円、費用額は、900、999千円となり、34、588千円の赤字となりました。収益は、医業収益が824、637千円で前年度対4・56%減、医業外収益等が421、742千円で前年度対20・5%減となりました。費用は、医業費用が855、839千円で5・85%減、医業外費用が45、160千円で前年度対5・9%減となりました。

収益の根幹である入院患者数は一日平均68・6人、前年

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会に付託されました、受付番号「陳情10号」「江栗地区内県道の改修について」の陳情書であります。

21日の午前9時より、建設課長の出席を求め、委員5名の出席のもと、協議のうえ、現地確認をした結果、委員会では、「採択」すべきものと委員全員の賛成により決定いたしました。尚、建設課で8月上旬、県に対し、19年度で測量について申請をしていることを申し添えておきます。

続いて、要望第2号 町道認定（延長）についての要望書については、日平区長の立会いのもと、現地確認を行い、民家が有る所までの町道延長（約100m）について「採択」すべきと委員全員の賛成により決定しました。



梅雨前線豪雨時路面浸水状況 江栗地区神社入り口付近 (H18.7.3)

一般質問

10名の議員が登場！

町政を問う

学校統合問題について



庄山 忠文議員

問 菊水地区において小学校の統合が計画されているが、基本計画的なものができているか。又緑小学校十町分校があるが、統合計画はあるか、南関町にある南関高等学校が荒尾高等学校との統合の素案が打ち出されているが町長、教育長の考えは。

答 菊水地区では合併前より、児童の減少や校舎の老朽化に伴い議会でも委員会ができていました。現在、菊水地域は菊水の教育ゾーンとして、三加和地区は一つの教育ゾーンとして方向性を示して来たところですが、和水町において将来を考えると中学校一校、小学校二校で小中一貫教育制度の導入を考えていく必要があるのではないかと、今後基本計画に対しては議会、教育委員会等で将来を見据え

て検討していきたいと思えます。十町分校については旧三加和町で統合の論議がどの様にされていたのか聞かなければなりません。ただ教育の面から見れば教育的には無いと認識を持っています。十町地区の皆さんの意見や多くの人達の意見を聞きながら早急に対応し対処していかなくてはならない、小学校の統合問題とこの事は切り離すべきでない、一つの線上の問題だと認識をしております。

南関高等学校の件については2回説明会があり平成27年まで9年間の内で地域説明会を開きながら整備されること、山手二町の随一の高校として地域の振興に大きなものがある訳です。今日南関町において、町長を筆頭に同窓会、育友会一帯となり存続の動きが活発化されており私も理解を深め何らかの形でのごしえていきたいと思えます。

職員不祥事の件について

問 職員が200万円着服した内容と管理監督者の処分はどうなっているか。2件の不祥事に対してその後職員の指導、監督はどう行われたか、町長、教育長、各課長、支所長、施設長に今後の指導、監督の意志をお聞きしたい。

答 この件に対して4月13日2通の定額1600万と300万計1900万を預金解約をし自己の借金返済の為に200万金庫から持ち出したものです。処分については人事院の処分指針や他市町村

の前例、県・県外などを参考に慎重に検討し8月14日に本人を懲戒免職処分、管理監督責任として総務課長、総合支所長を懲戒戒告処分、収入役室長、収納係長を訓告処分と致しました。本庁で緊急幹部会を開き職員の綱紀粛正について、公金は元より自己の金銭管理、飲酒運転防止、服装、挨拶の問題まで厳しく指導を行いました。総合支所、各課においても直接指導、厳重な注意を行い、今後二度とこのような事が無い様を引きしめて行政にあたって行きます。



杉本 和彰議員

行政運営全般について

問 ①、これまでの予算重視計画主義か決算重視成果主義なのか。またそれについて具体的な手法の計画を持ち合わせているのか。②、和水町立病院の経



和水町立緑小学校十町分校